

議会だより かどがわ

July.
2015

7

No.143

的めがけて集中!



第32回門川四半的認定大会

- ・ 一般会計補正予算 2P
- ・ あれは、どんげなっただげな／追跡レポート 3P
- ・ 一般質問 9人が登壇 4P

一般会計 補正予算 1億2793万円 賛成多数

総額 74億4593万円

平成27年第2回定例会

平成27年第2回定例会は、6月9日から19日までの11日間開かれました。

今議会において、諸般の報告、委員長報告などが行われ、選任同意1件、専決承認4件、契約締結1件、条例改正1件、財産取得1件、補正予算2件及び議員発議3件、請願・動議各1件の計15件を審議し、補正予算など全て原案通り可決・承認いたしました。

一般質問では、6月10・11日に9人の議員が登壇し、町政について論戦を行いました。

補正分

1億2793万円内訳			補正後総額
歳入 (1号補正)	地方交付税	1632万4千円 追加	21億5632万4千円
	国庫支出金	4097万9千円 追加	8億5644万8千円
	県支出金	2812万7千円 追加	8億4918万4千円
	繰入金	1000万 円 追加	5億 700万3千円
	繰越金	3000万 円 追加	1億8000万 円
	雑収入	250万 円 追加	1億5742万7千円

コミュニティバス
運行へ いよいよ
実証運行開始!



県産材使用の
身障者サービス
施設建設へ補助

歳出 (主なもの)	地域公共交通実証運行业務など委託料	1026万 円
	マイナンバー制度対応業務など委託料	5523万 9千円
	障がい児保育事業	294万 円
	『儲かるを形に』みやざきの園芸産地強化支援事業	198万 円
	森林整備加速化・林業再生対策事業(県産材使用施設建設)	2562万 2千円
	小中学校図書館空調整備工事	1270万 円
	宮ヶ原排水路付替え工事など	1200万 円

平成27年度 介護保険事業特別会計補正予算

歳入	繰入金	33万8千円 追加
歳出	人件費	33万8千円 追加
	認知症予防事業	18万 円 追加

追跡レポ 過去の一般質問から あれは、どんげなっただけな

南ヶ丘地区と日向市梶木を結ぶ道路について

平成18年12月議会

問

新設できないか

水永議員

答 弁

朝のラッシュ時を考えるとこの道路は必要な道路と認識している。

今後温度差のある日向市と粘り強く協議していきたい。

平成21年9月議会

問

首長同士
トップ交渉しては
どうか

内山田議員

答 弁

この道路が必要な道路であることは十分認識しているが、日向市民の同意を得るのが難しい。来年は日向市道の整備計画見直しの時期なので再度要望する。



南ヶ丘入口交差点

平成24年3月議会

問

以前からの課題で
あるが、その後の
進捗状況は

森 議員

答 弁

これまで現地調査でのルート検討や支障物件の確認、あるいは、JRとの近接工事の問題、さらには日向市にとっての必要性など検討している。

様々な視点から、当路線の必要性を日向市と協議し1年でも早く整備したい。

平成26年6月議会

問

日向市との協議の
進捗状況を伺う

内山田議員

答 弁

現在3ルートを検討しており、生活道路や避難道路としての道路の位置づけ、建設費の負担割合についての協議をしている。早期の事業化に向けて道路建設の優先順位等も含め、日向市と協議している。

現在

平成25年度 3ルート案を概略設計
日向市と手法など課題を協議中

(記 神崎)

一 般 質 問

9 名が登壇!!

西門川に「地域民の道の駅」を 米良 昭平



町長 町直営店の設置は困難

問 地産地消が定着した今、地域の産物がより簡単に購入でき、集客力も望める道の駅を町内に造ることは、町の経済において起爆剤となり得る可能性がある。その立地については、交通の便が良い主要幹線道路沿いに多くみられるところである。一方で、自家用車等自前の移動手段を持たない、いわゆる買い物弱者の皆さんからは、日常的に利用できる（徒歩など）範囲内に造られることを望む声が多い。そこで、町直営の「地域民の道の駅」を、その地域の皆さんが置いて欲しい商品を中心に取り扱う販売店として、まず西門川地区に肥料なども揃えた店舗を造ってはどうか。

町長 町の直営で造ることは困難である。しかし、高齢のため自動車が運転できない等の理由で遠くの町まで出かけることが困難な方、いわゆる買い物弱者も増えている。このような事態解決の糸口としては、「身近な場所に店を造る」「家まで商品を届

ける」「家から出かける」「やすくする」の3つの方法があると言われている。

この事に関して、国は地方創生の一環としてとらえ、「小さな拠点」の形成を支援するとしており、事例もありますので、今後、地域の要望にそって考えてまいりたい。



NPO法人二見わっしょいファーム農産物直売所（熊本）
平成24年度「幸せ実感!むらづくり大賞」の県知事表彰を受けました



西門川小・中学校の 存続で西門川の活性化を

水永 正継

町長

統廃合はやむを得ない

問 西門川では、近い将来小・中学校が統廃合され、地域からなくなろうとしている。また、住民の高齢化も進んでいる。このような状況の中、西門川を活性化させる対策や構想はないのか。

町長 中山間地域にあたる西門川は、農林業を通して国土保全、水源涵養などの重要な役割を果たしている。このような地域の自然環境や歴史・伝統を守っていくことが重要であると認識している。

門川町まちづくりプレーヤー事業や県のいきいき集落活動支援事業等を活用し、地元の特産品や加工品を販売する直売所の設置や西門川地域での夏祭り、三ヶ瀬地区のひな山祭りなど独自の活性化に取り組んでいる。

これからの取り組みとして、地方創生総合

戦略策定の中で、第一次産業、六次産業の振興などについて、地元の方々や関係機関と協議を進めながら取り組んでいきたい。

問 西門川小・中学校の特任校としての特徴を生かすことで、全国にアピールし、児童生徒・及びその家族を呼び寄せるなどして、学校を存続させ、西門川の活性化を図っていったらどうか。

百年以上にわたって西門川の文化の中心であった学校がなくなることは、西門川の活性化にとって失われるものが大きいと思うが。

町長 存続統廃合については、西門川地区住民を中心とした「西門川小・中学校存続統廃合検討委員会」において慎重に審議が重ねられ、統廃合はやむを得ないと判断している。



西門川小・中学校

問 門川町には大字の地番表示だけで、住居表示のないところが広範囲にわたって存在し、日常生活や経済活動、行政活動上不都合が生じていると思われるが、これをわかりやすく改める考えはないのか。

町長 住居表示は「住居表示」に関する法律に基づいており、町名を分かりやすくしたり、郵便物等を配達しやすしたりするなど、公共の福祉増進に資することを目的としている。

本町においては日常生活や経済活動、行政活動上、特に不都合が生じているとは考えていない。

現在の大字の地番表示を改める件については、その影響も非常に大きいことから、今後の検討課題としたい。

問 今まで70年間、日本は憲法9条があり、武力行使をしてこなかったが、安倍内閣が進める「平和安全法制」では、それが崩されようとしている。

町長の考えを伺いたい。

町長 現在、「平和安全法制」について、本国会で議論されている。国民的議論を踏まえ、国民の代表である立法府において、審議を尽くされるべき案件であり、その推移を見守ってきたい。





町長 創生事業の中で検討



乙島

問 門川町・まち・ひと・しごと創生事業推進本部の取り組みにたいする考え方、今後の目標、スケジュールは。

町長

今年度より、地方創生推進係を新設し、門川町版人口ビジョンと総合戦略を策定していく。

地域を維持して活力ある地域を維持していくことを基本目標に、雇用・住宅・教育・子育て・観光などすべての施策が人口減少問題につながると思う。

今後は、創生推進本部の本部会・専門部会

を定期的に開催し、外部有識者会議や住民アンケートなど実施していく。専門的な部分については、コンサル会社に委託して国の示している10月を目処に進める。

問 乙島を臨海学校として活用したらどうか。

町長

乙島は、町民の応募で門川魅力発掘事業の第1号に認定されているように、本町のシンボリック存在と誰もが認めている。

創生本部の中で臨海学校を含め、門川の自然・地域資源など活用方法を検討していく。

福祉問題

問 介護保険法が改正され今年度4月から施行となった。対応と計画は。

町長

今回の法改正により在宅医療・介護連携推

進は、介護保険の地域支援事業に位置づけられた。

今後は、10年後を見据え、県のサポートを受けながら、医師会・歯科医師会・介護関係施設などと積極的に意見交換を行っていく。

問 改正後の介護保険については、いつからスタートするのか。要支援の方など不安も多い。

福祉課長

平成29年4月からスタートしたい。本年度「総合事業検討委員会」を立ち上げ外部の方6人を含め、いろいろな方に参加していただき、門川町の特性にあった要支援のあり方、介護の量など十分検討していきたい。

問 福祉計画のアンケートでは、認知症の心配が23・3パーセントと多い。認知症のための「新オレンジプラン」についての取り組みは。



オレンジカフェ

や地域との交流、医療との連携、町と事業者間の情報交換などだが。

福祉課長

施設で家族や利用者等の会議の時は、介護福祉係も参加し意見交換を行っている。

問 現状では介護の質は事業者に頼らざるを得ない。事業者間のネットワーク・専門家・行政交えての取り組みは。

福祉課長

現在、事業者間のネットワークは十分でないところもある。今後事業者間の情報交換の場を設けるなど取り組んでいきたい。

問 認知症の患者をもつ家族や高齢者のための居場所（オレンジカフェ）の取り組みは。

福祉課長

どういうサロンの設置がいいのか、新設も含めて検討していきたい。

問 この福祉計画で、事業者が一番力をいれてほしいことは、家族



町営住宅建て替え計画は

森 誠一

町長 27年度に見直し

問 都市計画マスタープランの概要。

町長

町の今後の都市計画や、町づくりの理念および目標、あるいは分野別の取り組みなどの基本的な方針を定めたもので、本町は平成25年度から26年度にかけて計画を策定した。

問 漁業集落の環境整備の概要は。

町長

整備手法は、日向市細島地区の漁業集落で実施された、住宅市街化総合整備事業に、土地区画整理を部分的に組み合わせた手法であり、今後更に調査・検討を進める。

問 住宅建替えの具体的な計画は。

町長

高齢者・障がい者にもやさしい町営住宅の供給を掲げ、門川町公営住宅等長寿命化計画に基づき、ユニバーサルデザイン*の推進と、子育て世代の利用促進を図る。

問 庵川西・東住宅の建て替え計画は。

建設課長

庵川西・東住宅は、23年度計画では、庵川東に建替えの予定だったが、東日本大震災が発生し、状況が変わった。同地は低地のため、見直しを27年度に行う。

問 平城東のブロック造2階建て、橋の口住宅の改修及び建替え計画は。

建設課長

ブロック造2階建てについては、地震対策等の問題もあり今後、改修か建替えか検討する。

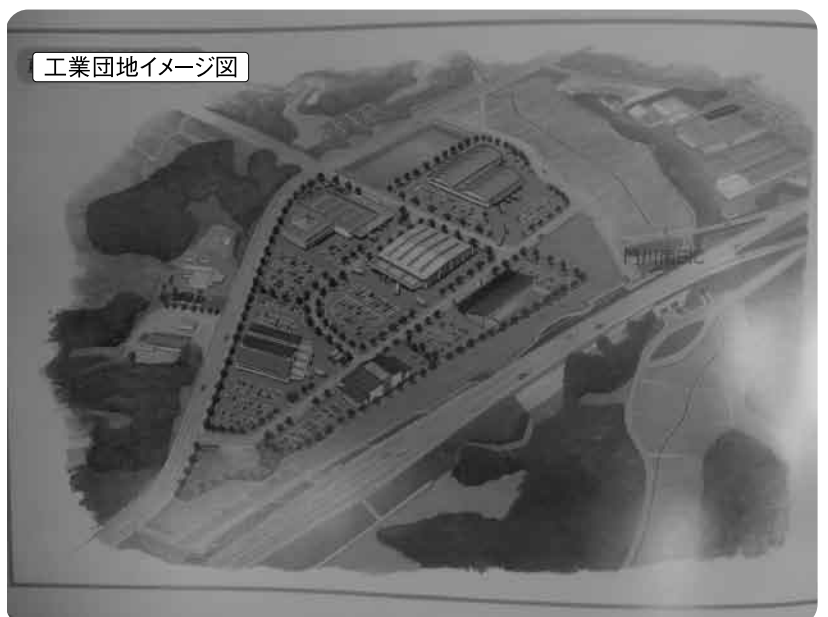
橋の口は建替え計画になっている、これから検討する。

※ユニバーサルデザイン
年齢や障がいの有無、国籍などに関わらず、すべての人が利用可能であるように計画・設計すること。



庵川住宅

工業団地イメージ図



工業団地の確保は

問 企業誘致のための工業団地の確保、および工場の集団化の計画は。

町長

既存工業団地の地域拡大や、低未利用地の有効活用を検討する。

門川南スマートIC整備に伴い、新たな工業団地を検討し、誘致企

業の立地面積規模の動向やインターチェンジと工業団地との関連性なども調査し、候補地を選定し、有効面積の検討やイメージ図を作成している。



町長

国の動向を見ながら検討

国の胃がん予防研究班は、『ピロリ菌は、胃がん発生の大きなリス

町長

問 胃がんにはピロリ菌感染が深く関わっており、ピロリ菌感染によって胃粘膜の萎縮が進むほど、胃がんが発生しやすい。国内で年間約12万人に発生し、約5万人が亡くなる胃がんの98%は、ピロリ菌感染による慢性胃炎が進行したものと考えられており、団塊の世代が胃がん発生のピークを迎える平成32年過ぎには、胃がん患者死亡者数は7万人に達する可能性が高いと言われている。

しかし、胃がんはピロリ菌を除菌することにより予防することができ。そこで本町でも胃がんリスク検査及び、ピロリ菌除菌の費用を補助し、町民の胃がん予防に取り組んでどうか。

※ABC検診
胃がんになるリスクを
判定する検診

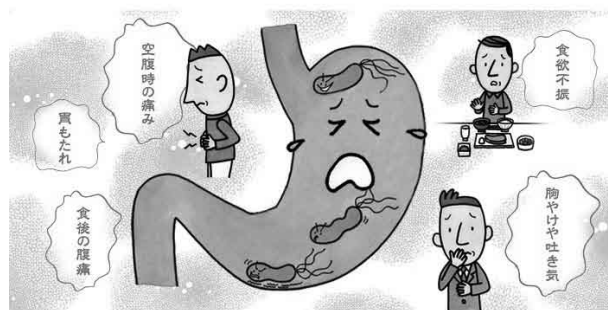
ク要因ではあるが、健康な人でも除菌による胃がん予防効果があるかどうか、確実な証拠はそろっていない」との見解を示している。

国は、胃がんによる死亡率を下げる効果のある胃がん検診として、胃X線検診を推奨している。しかし、国もヘリコバクター・ピロリ菌除菌の有用性について検討している。

胃がん発症にピロリ菌が関与していることは、ほぼ間違いないと確実視されているし、ピロリ菌を除菌すると胃がん予防につながる可能性は高まるということも認識している。国がABC検診*の有用性を示せば、町としてもABC検診の実施に向けて検討していく。

問 現在の観光は、これまでの団体中心の観光から個人や少人数の観光へと変化している。また、これまでは観光雑誌等から情報を得ていたものがネットによる情報収集へと変化し、電話による予約からネットを活用した予約へと変化するなど、情報発信のスタイルが大きく変わって

インターネットを利用して本町の観光振興を図っては



町長 観光振興に対する門川町観光協会における情報発信の現状は、フェイスブックを更新することでイベント情報や季節の話題を提供している。担当課によれば「ファン」への情報発信後に起こされる「いいね」や「コメント」というアクションが多くあり、信頼を得つつ

きている。加えてここ数年、スマートフォン等の普及で、フェイスブックやツイッター等の利用者が急激に増加したことに伴い、実際に観光に来ている瞬間そのものが情報発信の場へと変化してきている。

このように、非常に大きな発信力のあるメディアを活用して本町観光資源のPRを促進するため、観光協会のホームページを立ち上げ、情報発信の強化を図ってはどうか。

あるとのことだ。ホームページのように常設のイベント広告ができないが、信頼を高めた後にホームページへ移行するためのツールとしては有効と考えており、将来的には移行していくものと考えている。

現在、観光協会は事務局長が不在となっており、体制を整え、協働して事業を推進してまいりたい。

(乙女の島旅のビデオを見てのコメント・長野県にお住まいの川崎さん)



川崎 さん— 〇〇 このプロモーションビデオいいですね！
見えてハッピーな気分になりました。
東見半島だったかな？
以前遊びに訪れた時に素晴らしい眺めで感動しました。
いいね！・コメント・約3ヶ月前・レビュー3件・



コミュニティバスの導入は

小林 芳彦

町長

実証実験を踏まえ、協議会に諮り判断

問 門川町におきま

しても、今後高齢化社会が進むなかで、病院、買い物等を利用する交通手段の確保は必要であり、多くの高齢者の方々が望んでいる。

そんな中、本町では現在、門川町公共交通協議会から法定協議会に移行し、様々な協議、検討がなされているが、今後コミュニティバスの導入はどうなのか。また今後、地域公共交通はどのように進むのか（現在の状況も含め）。

町長

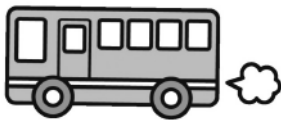
本町の公共交通は、高齢化が進む中、交通空白地域の問題や高齢のため自家用車の運転ができない等、移動手段が限られる交通弱者が存在する等の課題があり、これらの課題を解決し、住民の利便性を向上させるために、本町の公共交通のあり方や新しい交通システ

ムなどについて検討を進めている。

平成25年度は、門川町公共交通対策協議会を立ち上げ、住民アンケート等を行い、昨年度は、協議会を法定協議会に移行し、さらに詳しい現状分析と住民ニーズの解析を行って、門川町地域公共交通網形成計画を作成した。

今年度は短期間ではありますが、実際に車両を走らせる実証実験を行う予定。

実際に走らせることで具体的なニーズの把握や停留所の場所など運行に関する様々な問題点が整理できると考えている。実験を踏まえて、実績や利用者の意見などの把握・分析し、協議会に諮り、判断する。



心の杜の障がい者に対する入浴料の改善について

問 心の杜は、町民

また町外の方々からも幅広く利用されている施設だが、障がい者の方に対する入浴料は、改善されているか。

町長

かどがわ温泉心の杜は、平成10年に「福祉の向上」「健康の増進」「交流の場」として開設され、以来町民の皆様をはじめ、県北の市町村民や観光客と幅広い方々に利用していただいております。昨年度の年間入浴者数は21万人となっています。また、

館内は全てバリアフリーになっており、高齢者や障がい者の皆様にも安心して利用できるよう整備をし、随時改善も行っている。県内の状況をみると延岡市のヘルストピア、

高千穂温泉、木城温泉などの入浴施設が、障害者手帳を提示することにより、料金の減額などのサービスが受けられる。

心の杜の現在の入浴料の減免については、回数券による割引をはじめ、町主催や福祉・

教育機関の各種研修会などに一部減免がなされているが、障がい者の方に対する減免措置は行っていない。

このようなことから、県内施設の状況を参考に、改善について前向きに検討したい。



心の杜

本町の目指す将来像は

請 関 義 人



町長

特性や地域資源を生かした総合戦略を実施したい

町長 本町の人口の推移を見てみると、平成12年の1万9287人をピークに減少に転じ本年6月1日現在では1万8238人となっております。創生会議の試算では2040年には1万3908人まで減少する試算となっている。人口減少の影響については、税収の減少に伴う行政サービスの低下

問 少子高齢化が進み多くの問題が山積する中、現状に対する町長の認識は。



や、集落コミュニティ維持、水源の涵養、食糧供給機能等に深刻な影響が考えられる。さらに高齢化により働く世代の社会保障への負担増、子育て・教育の問題・介護等に様々な影響を与えることが考えられ避けて通れない問題と認識している。

問 『門川まち・ひと・しごと創生推進本部』の検討する基本的な方向性について。

町長 本部は、本町における人口減少に関する諸問題に対応し、将来にわたって、活力ある地域を維持していくことを基本的目標においており雇用・住宅・教育・子育て等、すべての問題が繋がっている。庁舎内一丸となつて取り組まねばならない課題である。今回の地方創生に関する国の施策は単に一極集中を是正し、地方拠点都市に

割り振るのではなく、人口減少という危機感から、各自治体が様々な独自の施策を展開する中で活力のある国にするための第一歩ではないかと考えている。

問 スマートインターの供用開始に向けて、工事着工前の用地買収等の準備も順調にすすんでいるようだが、供用開始後に危惧される点の協議はどのように進んでいるか。

町長 前回も答弁した通り現状と比較して、当該区間の普通車両の交通量がやや増加しても、現状と比較しても交通安全上の危険がにわか増加することはないと考えている。問題としては、スマートインターには大型車両の出入りがあり、この車両が狭い町道に侵入し、対向車両の通行に支障が出たり、交差点での危険度が増す

ケースは考えられる。この防止策としては、スマートインターへの出入りを表示する案内標識を適切な箇所に、設置する必要がある。

通常は、スマートインター入口への案内標識、あるいはスマートインターから出る方向の標識については、幹線道路を通行するよう示すことになる。この標識に従えば当該路線への侵入はないと思われる。

ただしスマートインターから庵川方面への侵入については、幹線道路では遠回りとなるので、大型車両でも意図的に当該区間を通行することも考えられるので、状況に応じて、公安委員会とも相談していく。

ただ、加草・枝線に関しては、県道との交差点が狭い等、部分的な改良は可能と考えている、また、供用に伴う各路線の交通量の状況に關しては、県・国と協力して、来年度に事前の交通量調査を行い、供用開始後には事後調査を行うことで各路線の増加交通量を把握し、それに伴う交通安全についても計画的に対応してまいりたい。



加草踏切



門川町地域防災計画の 改定について

米良 格

町長

改善点、対策を検討・協議していく

問 5月24日(日)

に実施された町内一斉避難訓練の実施状況の分析を踏まえ、『町民の防災意識をいかに高めるか』本町の今後の取り組みは。

町長

先の一斉避難訓練の参加者は、町内全域で2601人。

過去5回の訓練と比較し、当日が小雨で肌寒かったこともあり、やや参加人数が少なかったとの見方もありましたが、高齢者の参加が増えた地区もあり、防災リュック・ラジオなどの持参者が増えてきている状況。

各世帯が分散しているため各自判断で避難場所を決めた牧山地区など。

今後、『日向病院』の新増築オープンを待ち、南町1区、2区で7月12日に津波避難訓練、上井野地区で土砂災害の講習会など予定。



城屋敷地区避難訓練

また、今回の訓練に参加案内した町内防災士から、訓練終了後の講話や感想、意見などがあつた。

東北地方の『津波でんでんこ』と同様、『災害時に自主的に避難すること』を各世代間へ伝承し続けることは重要であり、今後も本町一斉避難訓練のあり方を引き続き検討し、実施していく。

総務課長

自主防災組織は現在32地区にあるが、無い



次世代に

町長

現在、危険空き家等に該当する空き家については、町民からの相談を受け対応。

『門川町生活環境保全条例』に基づき順次



空き家

空き家対策について

問 去る5月26日より『空き家等対策の特別措置法』が全面施行され、危険家屋等に対して行政側の対応ができることとなったが、

門川町内の空き家の現状と今後の見通し、対応は。

対応。町内すべての危険家屋等の把握は出来ていない。

今後は県のガイドラインなども確認し、空き家個数把握など協議。

環境水道課長

早速、区長会などを通じて情報収集に努める。また、立ち入り禁止の表示などの検討もしている。

税務課長

今回この特措法にあわせ、固定資産税などの課税方法も拡充され、税制上の措置も取れるようになってきている。



危険家屋



町長 引続き関係機関と意見交換をしたい



川南パーキングエリア

快速で安全な高速交通環境に欠かせない施設であり、適切な間隔で設置されることが必要と思われる。また沿線自治体の特産品販売や観光アピールなど地域活性化の効果が見込まれる。しかし、高速道の付属施設で、自治体では設置できず、さらに構造上の問題などの大きな課題もあるが、大分まで開通という新たな状況となったことをふまえ、引き続き隣接市や沿線自治体および関係機関と、意見交換をしていきたい。

問 東九州自動車道の本町から川南パーキングエリア（PA）区間に、サービスエリアを単独または隣接市と共同で設置に向けて検討する考えは。

町長 職員の配置について 定期異動にての職員の配置は適切か。土木・建築技師は充分か。工事等の完成検査には専任の検査員を配置してはどうか。

職員の業務量は一樣ではなく、各所属長へのヒアリングあるいは意見具申を参考にして配置している。技師も同様であるが、より専門技能を発揮しうる任用に努めて行きたい。専任の検査員については、限られた人材の中、技師の配置見直しなどが必要となるので、同規模自治体の今後の対応などを慎重に見定めて行きたい。

第2回定例会 表 決 表

各議員の審査結果（○＝賛成 ●＝反対 ／＝議長） 全員賛成の議案は除いています。

議 案	米良格	岩佐祐一	森川春夫	菊地稿治	請関義人	安藤福松	黒木裕	水永正継	小林芳彦	内山田善信	神崎千香子	米良昭平	森誠一	安田茂明
国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	／
平成27年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	／
国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	／
「集団的自衛権」に関わる法整備に反対する意見書を求める請願書	●	●	○	●	●	○	○	○	●	○	○	○	●	／
「集団的自衛権」に関わる法整備に反対する意見書	●	●	○	●	●	○	○	○	●	○	○	○	●	／

人事案件

固定資産評価審査委員会

委員の選任

任期満了による次期委員の選任について、同意を求めるもの。

吉塚陽太郎氏

(再任、下納屋在住)

(同意・全員賛成)

専決処分

国民健康保険税条例の一部改正

平成27年度税制改正により、課税限度額の見直しが行われたこと、低所得者に対する税の軽減措置の対象となる世帯の軽減判定所得について、経済動向を踏まえた見直しによる改正が行われたことに伴い、同条例の改正を行ったもの。

(承認・賛成多数)

町税条例等の一部改正

27年度税制改正に基づき、一部を改正するもの。

その主な内容は、

- ①ふるさと納税に関する事務手続き、
- ②固定資産税のわがまち特例の追加に関すること、③軽自動車税の税率改正、④町たばこ税の税率改正、⑤各税の減免申請の申請期限など

(承認・全員賛成)

介護保険条例の一部改正

介護保険法の改正、同施行令および政令の改正により、保険料軽減の対象者および軽減幅を定めるもの。内容は、第1号被保険者のうち所得段階が第1段階に該当する者について、保険料を年額28800円を25900円にする。

(承認・全員賛成)

条例改正

国民健康保険税条例の一部改正

27年度国保税を課税するに当たり税率等を改正するもの。

内容は、医療分では、所得割を0・7%、均等割を2000円それぞれ引き上げ、平等割を据え置く。後期高齢者支援金分では、所得割、平等割を据え置き、均等割を1000円引き下げる。介護納付金分では、所得割を0・6%、平等割を2000円それぞれ引き下げ、均等割を1000円引き上げる。また、地方税法改正にあわせ、字句修正等の条文整理を行う。

この議案は、文教厚生常任委員会に付託し、委員会審議(本議案に賛成)を経て、本会議にて審議を行いました。

(可決・賛成多数)

契約

中央公民館耐震改修事業建築主体工事請負契約

(予定価格5千万円以上)

入札 5社の指名競争入札

契約 協栄・藤田建設共同企業体

金額 1億638万円

内容 耐震補強および改修工事

(可決・全員賛成)

財産取得

庁内ネットワーク端末

耐用年数をむかえたパソコンを更新。(予定価格7百万円以上)

入札 5社の指名競争入札

契約 西日本電信電話株式会社

宮崎支店

金額 1014万9300円

物件 ノートパソコン125台

(可決・全員賛成)

請願

集団的自衛権に関わる法整備に反対する意見書の提出を求める請願

現在国会で審議されている安全保障関連法案に反対する意見書の提出を本議会に求める請願。

この請願は、総務財政常任委員会に付託し、委員会審議(不採択)を経て、本会議にて審議を行った。

(採択・賛成多数)

意見書

集団的自衛権に関わる法整備に反対する意見書

(採択・賛成多数)

地方財政の充実・強化を求める意見書

見書

28年度の地方財政予算全体の安定確保に向けて、政府に対策を求めるもの。

(採択・全員賛成)

その他

議長副議長選挙立候補制等検討特別委員会の設置

議長副議長の選挙の立候補制の検討を行うとともに、審議期間中、議会活性化の取り組みに関する調査研究を行う。

(可決・全員賛成)

議会会議および傍聴規則の改正

議員が出産のために、欠席届を提出できる旨を追加。

傍聴席への「つえ」の持ち込みを可とするもの。

(採択・全員賛成)

地域の力 この人



いつも地域の暮らしを発信してくれてありがとうございます。

ビデオリポーターを始めたきっかけは

三野さん

もともとカメラが好きで子どもの学校行事やら成長の過程を撮っていたのが病みつきになりました。

ビデオリポーターを始めたのは、地区の祭りで、地域婦人会の人たちの踊りを撮ったのがUMKビデオリポーターで放映されて面白くなってからです。

それから5、6年後にNHKのビデオ・町・村に投稿するようになって、35年になります。

今は、地域の自然やイベントを主に撮っています。



35年も地域の情報を発信し続けていく力の源は

三野さん

テレビに出して月間賞をもらうのを楽しみに出してい



三野洋美さん 76才(加草4区)

ます。何より、テレビに出た後、喜んでもらったり、言葉をかけていただくのが継続の力になっています。

テレビで見たけど、「あの花はどこけ」とか「取材してほしい」と電話もあります。始めた頃はノーマルカメラで3kgくらいありましたが、今はハイビジョンに変わって小さく軽くなったので、たすかります。

ありがとうございました。

これからもビデオリポート楽しみにしています。

(記 神崎)

募集!!

議会に対するご意見・ご要望をお待ちしております。

地域の力への推薦をお待ちしております。
自薦他薦問いません。



6月議会傍聴者のご意見

質問だけでなく、議員自身も事前に勉強し、例題等を出していくともっと前に進めることができそう。

議会傍聴のご案内

次回の定例会は9月です。

6月議会には17人の方に傍聴いただきました。

皆様の傍聴を心よりお待ちしております。

お問い合わせ：議会事務局

TEL63-1140(内線271)

編集後記

今年の梅雨は、雨が

多く土砂災害が心配されます。

災害に対する備えを日頃より心がけることが大事です。

第2回定例会も19日に閉会しました。

ました。

今議会では、議長副議長選挙

立候補制度等検討特別委員会の

設置が可決されました。これか

らも開かれた議会を目指して努

めてまいります。

(記 森)

議会広報編集特別委員会

委員長 森 誠一

副委員長 森川 春夫

委員 神崎千香子

委員 米良 格

■ 発行者／門川町議会議長 安田茂明

■ 編集／議会広報編集特別委員会

TEL 89-0696

宮崎県東臼杵郡門川町本町

TEL (0982) 63-1140

■ 印刷／有限会社 第一印刷